

整形外科がおすすめする初期臨床研修プラン

近年の高齢化社会、スポーツ活動の浸透により、外傷、変性疾患、スポーツ外傷など、整形外科に対するニーズは高まっています。札幌医大整形外科では、整形外科全般を幅広く学び、どんな分野でも診療ができる整形外科医、さらに自分の興味ある分野を深く掘り下げて学び、高度な専門性をもつ整形外科医の育成を目指しています。大学病院では各チームと救急部、北海道立子ども総合医療・療育センター（コドモックル）をローテーションして整形外科の基本的な診察、画像の読み方、治療法（保存治療、手術治療）に関しての知識と技能を習得します。

1. 研修病院の選択

整形外科の基本的な知識・技術を習得するために、初期臨床研修は大学病院での研修が望ましいと考えています。将来整形外科を選択する場合には、3年目（後期研修1年目）で大学病院での研修がありますので、2年目では整形外科以外の研修を選択することも可能です。しかし特別枠の場合には、B・Cコースの選択と2年目での整形外科研修を強くおすすめします。次ページのコース選択は、あくまでも案です。個人に合わせたコース選択をご提案しますので、ご連絡ください。

Aコース

協力型研修病院のうち下記の教育関連施設を選択していただくと、大学教室とつながりもちやすく、2年目の整形外科研修において基本的な外傷手術などたくさんの症例を経験できます。

B・Cコース

Bコースの協力研修病院においては、下記の教育関連施設をおすすめしますが、それ以外の施設も可能です。
Cコースを選択した場合のみ、3か月/年までの院外研修が可能です。

整形外科の教育関連施設			
協力型研修病院	JR 札幌病院	札幌徳州会病院	市立千歳市民病院
(たすきがけ病院)	砂川市立病院	滝川市立病院	済生会小樽病院
	市立室蘭総合病院	函館五稜郭病院	道立江差病院
	旭川厚生病院	帯広協会病院	釧路赤十字病院
研修協力施設	北海道立子ども総合医療・療育センター（コドモックル）		

2. 整形外科医になるために研修が望ましい診療科

高齢者社会を反映して、高血圧や糖尿病などの合併症を有している患者さんも多数います。これら疾患の周術期対応を身につける必要があります。また、がんの患者さんも増加しており、転移性骨腫瘍における集学的治療を理解している必要もあります。このためICUの研修や、必須の内科では循環器・腎臓・代謝内分泌内科、血液・腫瘍内科、呼吸器内科の研修をお勧めします。

3. コース選択案

Aコース

1 年次 大学病院												
4 週	8 週	12 週	16 週	20 週	24 週	28 週	32 週	36 週	40 週	44 週	48 週	52 週
必修 内科 (循環器・腎臓・代謝内分泌、血液腫瘍、呼吸器)						必修 救急・ICU			必修 外科・小児科・産婦人科・精神科 各4週			
2 年次 協力型研修病院												
4 週	8 週	12 週	16 週	20 週	24 週	28 週	32 週	36 週	40 週	44 週	48 週	52 週
選択 麻酔科				必修 地域医療		選択 整形外科						

B・Cコース： 整形外科の研修を十分行いたいと考えている場合、特別枠の場合

1 年次 協力型研修病院												
4 週	8 週	12 週	16 週	20 週	24 週	28 週	32 週	36 週	40 週	44 週	48 週	52 週
必修 内科 (循環器・糖尿病、血液腫瘍、呼吸器)						必修 救急・ICU			必修 外科・小児科・産婦人科・精神科 各4週			
2 年次 大学病院												
4 週	8 週	12 週	16 週	20 週	24 週	28 週	32 週	36 週	40 週	44 週	48 週	52 週
選択 整形外科						必修 地域医療		選択 整形外科				

B・Cコース： 特別枠以外で、2年目は整形外科以外の研修も考えている場合

1 年次 大学病院												
4 週	8 週	12 週	16 週	20 週	24 週	28 週	32 週	36 週	40 週	44 週	48 週	52 週
必修 内科 (循環器・糖尿病、血液腫瘍、呼吸器)						必修 救急			必修 外科・小児科・産婦人科・ 精神科 各4週			
2 年次 大学病院												
4 週	8 週	12 週	16 週	20 週	24 週	28 週	32 週	36 週	40 週	44 週	48 週	52 週
選択 ICU		選択 麻酔科			必修 精神科	必修 地域医療	選択 整形外科					